

<新・市総合計画後期基本計画見直しのたたき台から素案への変更にあたって>

今回の計画見直しの大きなポイントの1つに「共創」と「共有」を掲げており、これからのまちづくりを市民の皆様をはじめ、事業者や各種団体の方々とも、共に創っていくことを目指していることから、計画の策定においても、その考えを取り入れ、これまで、本会議において、4回にわたりご協議いただきました。

また、同時並行作業として、庁内での総合調整担当次長会議を2回開催するとともに、市民団体等へのヒアリング調査や市民意識調査を行うなど、庁内外から後期基本計画のたたき台について、たくさんのご意見をいただいたところです。

これらを踏まえ、本日お手元に配布させていただいた素案を取り纏めたところですが、本市民会議の委員の皆さまから頂いたご意見等が、どのように素案に反映されているのか、以下の通り一覧表にとりまとめました。

○行政経営市民会議における意見等への対応表

第1章 はじめに (P7)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
			市民が参画しないと、地域が衰退する。	→第1章「活動人口を増やす」にその趣旨を記載しました。
			地域がつながり、自分たちのまちを自分たちで作るという意識が大切。	
			共創について、民間側から取り組める事業を市へ提案している自治体もある。	

体系図 (P14~)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
			「放射能」とタイトルしか入っていない。	→「放射線を取り除く」としました。タイトルを動詞形に統一しました。
			「健康」というタイトルだけではわからない。	→「健康に過ごす」としました。タイトルを動詞形に統一しました。

柱 復興(P18～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
概要			市民自身、何をしたらよいか明確でない人も多いので、役割を明確にし、意識啓発を行うべき。	→市民、事業所、行政の役割分担について各柱に記載しました。
1 暮らし	(1)住まいとコミュニティづくり	①	防犯灯は市民協働部の所管だが、記載がない。	→記載しました。
	(2)放射線を取り除く	①	放射能の理解促進を進めるべき。	「①健康とリスクコミュニケーション」の取組みの参考とさせていただきます。
		①	放医研は市民の安心につながる。	
		②	除染作業に若い労働力がどの程度取られているかわかる資料を作るべき。	「②生活環境の除染とモニタリング」の取組みの参考とさせていただきます。
2 しごと	(2)廃炉とイノベーション	①	イノベーションコーストの取組みを記載すべき。	→「①廃炉とイノベーション」にイノベーションコースト構想の記載を追加しました。
3 防災	方針		「ゲリラ豪雨」という表現が気になる。	→「がけ崩れ」に修正しました。
	(1)災害に備える	①	本市が震災の被災地であることを知らない方も多い。情報発信の強化をすべき	→「①忘れない、伝え続ける」について震災メモリアルを再整理し記載しました。
	(2)いのちを守る		地震、津波等、災害の固有名詞が散らばっていて、整理すべき。	→目標「(2)いのちを守る」について、趣旨を踏まえ再整理しました。
②		住民との情報共有、行政における住民からの災害情報を活用すべき。	「②情報共有・耐震化支援」の取組みの参考とさせていただきます。	
4 感謝 と共生	特に見て頂きたい部署		「共生と感謝」は、行政経営部以外も関わるはずだが、記載がない。	→「市民協働部」を記載しました。
	(1)つながりを深める	①	「チーム浜通り」と「チームいわき」のどちらかに統一すべき。	→両方削除しました。
		①	避難者のこともあり、地域のつながりには福祉の視点が必要。	→「①個々のつながり」にその趣旨を追加しました。

柱Ⅰ 美しい環境を守り、育てあう (P28～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
1 エネルギー	現状・課題等		化石燃料の課題の記載について、再考すべき。	→地球温暖化の影響に修正しました。
2 ごみ・資源	全体		「ゴミ」「ごみ」が混在している。ひらがなのほうが柔らかい印象がある。	→「ごみ」に統一しました。
	(1) ごみを減らす		ごみ以外の視点で、生活スタイルについても言及するとよい。	→「柱Ⅰ」に市民の役割分担を記載しました。
			リサイクルは最終手段であって、目的ではない。	→タイトル「リサイクル率を高める」を削除し、減量化が重要である旨を記載しました。
		①	避難者にもごみの分別を伝えるべき。	
		①	ごみの問題は、市民の役割も大きく、地域住民から避難者に働きかけるべき。	→「①分別・リサイクル」において分別ルールの徹底を記載しました。
		①	どうしても出てしまうごみは、3Rを組み合わせると取り組んでほしい。	
②	段ボール等、リサイクルを進めると市の財源になる。	「②資源に変える」の取組みの参考とさせていただきます。		
(2) ポイ捨て・不法投棄をなくす	①	「①ポイ捨て」に、「ごみを拾う人」という文章が2回出てくるので整理すべき。	→意見を踏まえ再整理しました。	
3 自然を守り、引き継ぐ			分野3において「守る」「まもる」が混在している。	→目標の見出しとして「まもる」を用い、他は「守る」としました。
	(3) 自然をつなぐ	②	その地域を好きになれば環境改善にもつながる。郷土愛が重要。	「②支える・参加する」の取組みの参考とさせていただきます。

柱Ⅱ 心をつなぎ、支えあう(P36～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
1 共に生きる	(1) 認めあい、理解しあう		市からの情報が本市在住の外国人への確に届くようにすべき。	→「①多様な個を認める」、「②ユニバーサルデザイン」に趣旨を記載しました。
	(2) 出会い・結婚する	②	中山間地域に住む人の中には独身者が多い。結婚の取組みは評価する。	「②出会いの場・機会」の取組みの参考とさせていただきます。
2 産む・育てる	(2) いわきで育てる	①	0歳児託児対策をするべき。	「①安心して」の取組みの参考とさせていただきます。
		②	民間保育所が対応しきれないのも、待機児童が生じる一因。	→「②ムリなく」に幼稚園・保育所等の適正配置と整備を記載しました。
		②	休日・延長保育に対応しきれず、仕事をあきらめる保護者もいる。	「②ムリなく」の取組みの参考とさせていただきます。
		②	保育士の処遇改善に取り組んでほしい。	
		②	待機児童と0歳児保育の対応を進めるべき。	
3 健康と医療	(1) 健康に過ごす		本市でも健康に関する直接的数値を公表すべき。	「成果指標」で検討します。
		①	市の取組み（シルバーリハビリ体操）等のアピールをするべき。	「①生活習慣」の取組みの参考とさせていただきます。
	(2) 医療体制を整える		項目②「医師確保」とあるが、看護師等も不足している。	→項目を「医療体制を整える」に修正しました。
		①	医師の後継者不足は深刻。外でキャリアを積んでから戻ってくることも重要。	→「①医師の確保」に連携した働きかけの強化を記載しました。
		①	医師の受入れ体制をより手厚くすべき。	
		①	2次病院に勤務する方への補助を検討すべき。	「①医師の確保」の取組みの参考とさせていただきます。
		②	2次救急の再生を図るべき。3次救急も人手不足。	→1, 2, 3次医療体制の医療体制の充実を記載しました。
		②	本市で正看護師になれる仕組みができて、実習先が少ない。	「②医療体制」の取組みの参考とさせていただきます。
		②	病床数等が将来人口に合わせて整備されると、その間問題が生じかねない。	
		②	特典等、医療の担い手が本気になれる仕組みづくりをすべき。	
②	無駄な医療費を使わせないことが大切。			
	②	医療の電話相談等、有効手段もあるが、市民に知られていないもの多い。		

4 住み慣れた 地域で暮らす	(1)暮らしたいところで暮らす		「住み慣れた地域で暮らす」には保健福祉部以外も関係するはず。	→「市民協働部」を記載しました。
		①	親子で住んでいても、日中は家に高齢者一人ということがある。	→「①高齢者・障がい者」に日中独居の方への対応を記載しました。
		①	小中学生も含め、市民全体で認知症患者を見守る仕組みを作り、活動を拡充すべき。	→「①高齢者・障がい者」に、認知症について追加記載しました。
		①	認知症を理解するため、市民に啓発活動を行うべき。	
		①	柱Ⅴ-1-1の「障がい者の方の支援」と柱Ⅱ-4-1「障がい者は支援が必要な方ではありません」との整合を図るべき。	→「①高齢者・障がい者」における記載を削除しました。
		①	「高齢者や障がい者は、支援が必要な人ではありません。」という書き方は誤解を招くかもしれない。	
	①	「健康と医療」の分野に高齢者対策が入っていないのが物足りない。	→「①高齢者・障がい者」に、地域で暮らす趣旨を記載しました。	
(2)助け合う	①	高齢者の生きがいについても触れるべき。	→「①ボランティア等」に趣旨を記載しました。	
	②	「②ご近所の力」の文体が他と異なり、「もう半歩前に・・・」とあるのも気になる。	→「②ご近所の力」において趣旨を踏まえ、修正しました。	
5 暮らしの安心	(1)暮らしを安心にする	①	通学路の夜間照明や防犯カメラの設置に更なる支援が必要。	「①防犯・交通安全」の取組みの参考とさせていただきます。

柱Ⅲ 学びあい、高めあう (P48～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
1 教育	(3) 高校・大学等を充実する	②	経済的な理由から大学を中退せざるを得ない学生に対し、サポートできる仕組みがあればよい。	→「②学ぶ機会の提供」に給付型奨学金の取り組みを記載しました。
2 生涯スポーツ・生涯学習	(1) 生涯スポーツ	②	スポーツ大会の誘致についても考えるべき。	→「②応援する」において、各種スポーツの開催による交流人口の拡大を記載しました。
	(2) 生涯学習	②	生涯学習の利用者が固定化しつつある。	→「②人と人、つながりが集まる場」に様々な世代の交流を追加しました。
3 歴史・伝統文化・芸術	(2) 文化・芸術にふれる、創る	②	公民館講座の決定には、もっと住民意見を取り入れるべき。	「②人と人、つながりが集まる場」の取組みの参考とさせていただきます。
		①	美術館等、元々の関心があまりない人にこそ来て頂きたい。	→「①ふれる」にアウトリーチ(“出前”)の趣旨を記載しました。
		③	市内で芸術活動をしてもらう仕組みを作るべき。	→「③文化を創造するまち」にその趣旨を記載しました。
③	適切な文化芸術企画を呼び込むことができる職員がいることが大切。			

柱Ⅳ 魅力を育み、磨きあう (P56～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
1 まち	(1) 暮らしやすいまちをつくる	②	いわき版コンパクトシティや住み替え等によるCCRCを作ってほしい。	→「②核・拠点をつくる」の中にコンパクトなまちを記載しました。
		②	地域拠点形成のインセンティブや財源は。	これから着手する取り組みのため、今後検討を深めていきます。
2 中山間地域・沿岸域	(2) 域内循環で地域をおこす	②	小中学生が高齢者と触れ合う仕組みを、廃校等を利用して作るべき。	→「②廃校のリノベーション」について記載しました。
3 住まい・住み良さ	(1) より住みやすくする	③	農地バンクのほかに空き家バンクを記載すべき。	→「③空き家を使う」において空き家の取組みを記載しました。

柱V 活気を生み、力を伸ばしあう(P64～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
1 働く	(1) いわきで働く	①	市内就職に関し、高専や高校との連携を強化すべき。	「①18歳の決断のその前に」の取組みの参考とさせていただきます。
		②	大企業に就職してほしいという親の意向で、市外へ流出する若者もいる。	→「②22歳の決断に向けて」において、本社機能等の移転を追加記載しました。
2 稼ぐ力 と経営力	(1) 担い手を確保する	②	「共同による人材育成」について、明星大の地域協議会などの取組みの活性化を期待する。	「②共同による人材育成」の取組みの参考とさせていただきます。
	(3) 創業を支援する	①	「創業支援」につき支援団体の連携を進めるべき。	→「①創業者・第二創業者の支援」に趣旨を踏まえ記載しました。
3 農林水産業	(1) 攻める		「攻める」農業という風評打破の熱い想いが感じる。	→タイトルを「地産地消」から「攻める」という内容に変更しました。
		①	「地産地消を意識してください」という投げは違和感ある。	→「①食べる」において修正しました。
		①	学校給食の地産地消は重要なので進めてほしい。	→「①食べる」において記載しております。
		③	「賢くつくる」という「地産地消」と内容が不一致。	→「③賢くつくる」において、6次化、ブランド化、アグリツーリズム等を追加記載しました。
		③	金融、メーカー、高専が共同で水耕栽培を実施した例もあるので、新しい取組みを進めるべき。	
	(2) 基盤を固める	②	農業法人の育成を記載すべき。	「②経営・人材」の取組みの参考とさせていただきます。
4 工業・商業 ・サービス業	(3) 中小企業・小規模事業者等を支える	①	会議所会員企業では事業承継が課題である。	→「①商工団体を中心としたチームの結成」において事業承継を含め中小企業の課題解決について再整理しました。
5 観光	方針		方針について、観光資源の列挙となっており、方針化されていない。	→「方針」において趣旨を踏まえ再整理しました。
			被災地を観光資源化することには抵抗感を持つ人もいる/被災地から学ぶことは重要である。	→「教訓を聞きに」から「教訓を学びに」に修正しました。
	(1) 戦略を立てる	①	企業に対して情報提供し、スポーツを産業化し、交流人口拡大や風評払しょく等につなげるべき。	「①戦略を打ち出す」の取組みの参考とさせていただきます。
		①	スポーツを雇用等につなげる仕組みを考えるべき。	
		①	スポーツの産業化を図るべき。	
	(3) おもてなしをする	①	市全体の資源を連携させるべき。	→「①資源の磨き上げと組み合わせ」において資源の組み合わせを追加しました。
①		湯布院では地産地消で観光振興に寄与している。	「①資源の磨き上げと組み合わせ」の取組みの参考とさせていただきます。 ※地産地消については、柱V-3-(1)で記載しております。	
②		観光戦略とおもてなしが重要。	→「②おもてなしとご提案」について趣旨を踏まえ再整理しました。	

柱VI 交わり、連携を強めあう(P76～)

分野	項目	取組み	発言要旨	対応
1 人と人・地域と地域	(1)活動人口を増やす	①	”特に見ていただきたい部署”に保健福祉部を入れるべき。	→ご意見を踏まえ、追加しました。
		②	今後の地域づくりには自治会や民生委員等の組織が不可欠。	→「②市民総活躍社会」を追加しました。
	(2)新たに呼び込む		MICE、スタディーツアー等ターゲットを明示した戦略を記載すべき。	→目標「(2)新たに呼び込む」において、学会・国際会議等の誘致を記載しました。
		①	合宿を盛り込んだことは評価できるが、現実には宿泊施設が不足している。	「①合宿の取り込み」の取組みの参考とさせていただきます。
2 交通基盤・移動手段	(2)交通を確保する	②	公共交通を充実させ、回遊の仕組みを構築すべき。	「②軸を補完する取組み」の取組みの参考とさせていただきます。
		②	高齢者の交通手段について記載すべき。	
	(3)自転車を活用する	①	いわき市は交通手段が限られているので、観光として自転車の活用は適している。	「①環境を整える」の取組みの参考とさせていただきます。
		①	競輪場があるので、自転車の取組みは良い。サイクリングロードの整備を進めるべき。	
		②	競輪場で子ども向けイベントを行うことは考え物である。	